

音楽科

昨年度の取り組みと成果と課題

【 成果 】

- ・低学年では、音楽に合わせて体を動かしたり拍に合わせてリズム良く手拍子したりすることができるようになり、楽しんで学習に取り組めるようになった。また打楽器などの楽器に関心をもち、音色の特徴などに気付くことができた。
- ・中学年では、曲の特徴に合った歌い方を工夫して表現したり、拍によって旋律楽器を演奏したりする力が身に付いてきた。
- ・高学年では、音色や響きに気を付けて旋律楽器及び打楽器を演奏する技能が身に付いてきた。

【 課題 】

- ・低学年では、鍵盤ハーモニカを運指に気を付けて演奏したり、音の高さを感じて歌ったりすることに課題が残る。また拍やリズムの違いといった用語の意味が定着させることが課題である。
- ・中学年では、音楽を聴いて聴き取ったこと、感じ取ったことを言葉などで表す力を身に付けることが課題である。
- ・高学年では、呼吸及び発音の仕方に気を付けて自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けることが課題である。

学習状況の分析

○知識・技能

- ・低学年では、鍵盤ハーモニカの基礎的な奏法の習得と音の高さを意識して楽譜を見たり演奏したりする力を身に付ける必要がある。
- ・中学年では、呼吸及び発音の仕方に気を付けて自然で無理のない声で歌う技能が身に付いてきている。音楽を形づくっている要素、音符、休符、記号や音楽用語について理解を深め、曲想と音楽の構造との関わりについて理解する力を身に付ける必要がある。
- ・高学年では、音色や響きに気を付けて旋律楽器及び打楽器を演奏する技能は身に付いてきている。パートの役割を意識して演奏する知識・技能の習得が必要である。

○思考・判断・表現

- ・低学年では、音遊びを通して、音楽づくりの発想を得る活動を積み重ねていく必要がある。
- ・中学年では、音楽によって喚起された自己のイメージや感情を曲想と音楽の構造との関わりなどと関連させて捉え直し、よさや面白さを言葉などで表す力を高めていく必要がある。
- ・高学年では、曲の特徴にふさわしい音楽表現をいろいろ試しながら考え、どのように表現するかについて思いや意図をもつ力を高めていく必要がある。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・低学年では、どの領域においても興味・関心をもって取り組むことができる。活動時間を短く区切って飽きさせない工夫が必要である。
- ・中学年では、友達と気持ちを合わせて音楽表現を楽しみながら主体的に学習に取り組む児童が多い。児童の実態に合った教材を選択し、活動時間を短く区切って飽きさせない工夫が必要である。
- ・高学年では、友達と気持ちを合わせて音楽表現を楽しみながら主体的に学習に取り組む児童が多い。友達と協働して表現を工夫する学習に取り組むことが難しい児童が一定数見られる。

## 授業改善のポイント（観点別）

### 【 低学年 】

#### ○知識・技能

- ・鍵盤ハーモニカの正しい指づかいを歌で覚えたり、音の高さをつかむため体を動かしながら歌ったりする。

#### ○思考・判断・表現

- ・声や身の回りの様々な音に親しみながら、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する。

#### ○主体的に取り組む態度

- ・いろいろな音楽を聴いたり歌ったり演奏したりすることで、音楽への親しみをもたせる。
- ・身体表現を生かした活動を増やし、児童が音楽を楽しむことができるようにする。

### 【 中学年 】

#### ○知識・技能

- ・音楽を形づくっている要素、音符、休符や音楽用語について掲示物を準備するなど音楽室環境を整えたり、ICTを活用して音楽ドリルを作成したりして反復練習し、定着を図れるようにする。

#### ○思考・判断・表現

- ・感じ取ったことが音楽の要素の何に基づいているのか、ワークシートや掲示物で手掛かりとなる言葉を提示し、関連付けてよさや面白さを言葉などで表現できるようにする。

#### ○主体的に取り組む態度

- ・1時間の学習の流れを板書で示し、見通しをもって取り組めるようにする。
- ・器楽学習では、スモールステップで自分に合った課題を選んで取り組めるようにする。
- ・様々な音楽に触れる機会を設定し、音楽への興味・関心を高めていけるようにする。

### 【 高学年 】

#### ○知識・技能

- ・思いや意図に合った表現に必要な基礎的な技能の定着を図るために、児童に合った教材を選択する。また、ふり返りシートを活用し、児童の実態を把握し、支援していく。
- ・常時活動として、発声練習に取り組む。

#### ○思考・判断・表現

- ・友達と関わり合いながら考えを広げ学びを深めるために、ペアやグループ活動など協働して取り組む場面を設定する。

#### ○主体的に取り組む態度

- ・1時間の学習の流れを板書で示し、見通しをもって取り組めるようにする。
- ・器楽学習では、スモールステップで自分に合った課題を選択して取り組めるようにする。
- ・グループで対話する場면을意図的に設定し、友達と協働的に学ぶことができるようにする。